

妙一尼御前御消息

御書新版 1696 1行目〜3行目  
御書全集 1253 16行目〜17行目

（冬は必ず春となるの事）

法華經を信ずる人は冬のごとし。冬は必ず春となる。いまだ昔よりきかずみず、冬の秋とかえれることを。いまだきかず、法華經を信ずる人の凡夫となることを。經文には「もし法を聞くことあらば、一人として成仏せざることなけん」ととかれて候。

通解

法華經を信じる人は冬のようなものである。冬は必ず春となる。昔から今まで、聞いたことも見たこともない、冬が秋に戻るといふことを。

（同じように）今まで聞いたことがない、法華經を信じる人が仏になれず、凡夫のままにいてることを。

經文には「もし法を聞くことがあれば、一人として成仏しない者はいない」（法華經方便品第2）と説かれています。